

平成21年6月9日（火）

○議長（中西峰雄君） 順番13、13番 瀧君。

〔13番（瀧 洋一君）登壇〕

○13番（瀧 洋一君） 議長のお許しをいただきましたので、通告に従いまして、一般質問を行います。

自民党を中心とする政権のもとに官僚主導の政治が行われ、国道371号線のように、市民にとって本当に必要な道路は整備をされることなく、日本全国で無駄な道路がつくられたり、天下り、税金の無駄使いが横行してまいりました。景気対策として組まれた今年度の補正予算約14兆円のうち、3分の2は赤字国債、国民に背負わされる借金であります。

昨日も、与党PTですら疑問を呈されました117億円のアニメの殿堂、国営漫画喫茶をはじめ、多くが箱もの予算に充てられていることも問題であります。

このように、自民党の長期政権が招いた官業の癒着の構造を断ち切るためには、何としても政権交代が必要であり、その道筋は国民の生活が第一であります。

また、地域のことは地域に任せる、地域主権の政治をつくることも重要であります。地域主権の政治に必要なのは市民の声であります。私たちの未来は私たちの手で、市民と行政が一体となったまちづくりをめざして今回もお尋ねをしたいと思います。

さて、今定例会からシリーズで、本市が本当に住んでよかったと思えるまちにするために問題点を洗い出し、政策検討し、提言を行ってまいりたいと思います。その第1回目として、住民サービスについて考えてみたいと思ひ、以下の2点についてお尋ねいたします。

1、図書館の充実を。市民の方から図書館の充実を求める声をよく聞きます。そこで、

図書館の現状をお伺いするとともに、今後の方針についてお尋ねします。

①現在の蔵書数、図書、雑誌は何冊ですか。この蔵書数は市民にとって満足できる蔵書数とお考えでしょうか。

②図書購入予算の直近5年の推移はいかがですか。

③選書はだれが何を基準にされていますか。

④図書館と公民館図書室との連携についてお尋ねします。

⑤蔵書検索をインターネット上で行うことは検討されていますか。

⑥他図書館との相互貸し出し協定についての現状と、とりわけ河内長野市など、今後の予定についてお尋ねします。

2番、住んでよかったと思える橋本市にするために。パートワン。

住んでよかったと思える橋本市にするために、今回は住民サービスから見た本市の位置付けについてお尋ねをします。

県内、周辺自治体、類似団体と比較してすぐれている住民サービスはどのような点がありますか。また、努力を要する住民サービスはどのような点がありますか。今回は、以下の点についてお尋ねします。

1、少子化対策について。

保育所定員数と待機児童について、認可保育所保育料について、学童保育について、乳幼児医療費助成制度について、独自の少子化対策について。

②高齢化対策について。

介護保険保険料について、国民健康保険保険料について、人口当たり病院・診療所病床数について、独自の高齢化対策について。

③公共料金等について。

上下水道料金について、ごみ袋料金について。

質問が多岐にわたっております。簡潔・明快な答弁をいただきますよう期待をいたしまして、私の1回目の質問を終わります。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君の一般質問に対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（森本國昭君）登壇〕

○教育長（森本國昭君）瀧議員の図書館の充実についてのご質問にお答えをいたします。

1点目に、議員おただしの本市図書館の蔵書数でございますけども、12万6,000冊でございます。全国的に見ますと、人口規模が6万5,000人から7万2,000人までの公共図書館53館中で本市図書館は48番目になります。和歌山県内18市町の図書館で見ますと、蔵書冊数は5番目でございます。

なお、消耗品扱いの雑誌、新聞につきましては、利用者の意見要望を反映して、今年度の雑誌は34タイトル、新聞は6紙を購入しております。

蔵書数及び雑誌・新聞などの物量の面からのサービス向上は、閲覧スペースや蔵書スペースなど、構造的な狭隘と財政面から今後の課題となりますが、図書館を利用いただいている市民の方々のご要望に添えるように、図書の購入希望に関するリクエストサービスの活用をお願いをしております。1人1回に4冊までのリクエスト申し込みが可能であります。平成20年4月から平成21年4月までの購入リクエスト件数は774件ありました。

次に、2点目の図書購入予算につきましては、平成18年度までの図書費は1,000万円でした。その後、平成20年度より702万2,000円で推移しております。県内の18市町村立図書館における住民1人当たりの図書費は10番目になります。

3点目の、選書につきましては、図書館員が発注業務を行っております。選書のためのツールにつきましては、図書館流通センターが週刊で発行する公共図書館向けの新刊全点案内をもとに発注をしております。このほかに、日本図書館協会の専門家による図書選定委員会が週刊で速報する選定目録や、市販の図書販売目録及び利用者からの購入希望リクエストをもとに発注をいたしております。

特色ある資料構成の構築を計画的に行うための専門的資質や書誌目録の作成、並びに配架スペースなど、今後の課題については検討すべき余地があるものと感じております。

次に、4点目の公民館図書室との連携につきましては、自動車文庫が毎月1回、地区公民館を巡回する中で、それぞれの地区にお住まいの方々が、お近くの公民館を利用して図書の返却、貸し付けができるシステムになっております。

また、公民館図書室でのボランティアによる行事に関しましては、300冊を図書館より特別貸し出しを実施するなどいたしております。

5点目の、インターネットでの蔵書検索につきましては、図書館システムとしては実施可能な段階にありますが、情報セキュリティに関連する情報推進課の指導助言のもとで、技術的にも専門的にも複雑な難関をクリアしていく課題とともに、耐震工事の関係から、工事の完了後には速やかな実施を開始いたしたく検討をしております。

最後に6点目の、図書館が連携協力して相互に図書館の資料を貸し借りする制度は定着しております。ただし、物流システムへの対価が利用者に反映されるために、無条件で気軽に利用できません。和歌山県立図書館の所蔵本であれば貸し出しのための送料が県が負担しております。返却するときは市が負担しておりますので、利用者への負担はありません。

が、それ以外の図書館では送料が利用者の受益者負担となっております。

また、河内長野市などの近隣市との状況でございますが、地域の交流連携及び広域行政の推進などの事業を目的とする河内長野市・橋本市・五条市広域連携協議会で図書館の相互利用について現在検討中であります。

なお、かつらぎ町立図書館のように、橋本市民に限らず隣接する地域住民が貸し出し利用のできる利用者登録制度を、人々が行き交う地域活性化に役立つためにも検討していく所存でございますので、今後ともよろしくご指導のほど、お願いを申し上げます。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）企画部長。

〔企画部長（吉田長司君）登壇〕

○企画部長（吉田長司君）住んでよかったと思える橋本市にするために、住民サービスから見た本市の位置付けについて、お答えいたします。

橋本市では、このまちに住んでよかった、このまちに住んでみたいと思っただけのまちづくりを実現するため、本市の将来を指し示す羅針盤として新たな橋本市長期総合計画を平成20年3月に策定しました。

おただしの、本市の住民サービスの状況について他の自治体と比較することは、自治体によってさまざまな要素が異なるため、比較は難しいと思われませんが、平成16年に新市合併に際し、今後のまちづくりに反映させるために行ったまちづくりアンケートの報告書により、本市の住民サービスについて、市民の目線から位置付けとして報告されており、現在もあまり差異はないものと考えております。

このアンケートの中で、よくやっている行政分野として評価されたのは、ごみ収集・処理の状況、上水道整備の状況、公園・緑地・広場整備状況、下水道整備状況等が挙げられ

ています。

また、しっかりやってほしい分野としては、働きがいのある就業機会の状況が最も高く、次いで、交通機関の利便さ、道路整備の状況、保険医療サービスの状況等が挙げられています。

これらのことから、住民サービスについてのすぐれている分野の維持、また頑張っている分野の向上も入れたいかなければならない分野の向上も含め、本市の長期総合計画に基づく頑張る地方応援プログラムを実施いたしております。地域の特性を生かした独自のプログラムを策定し、その住民サービスにつなげられる形で具体的な成果目標を掲げています。

そのプログラムの内容は五つのプロジェクトで、企業誘致を中心とした元気なまちづくりプロジェクト、子育て支援事業を中心とした子ども・子育てのびのび夢プロジェクト、やどり青少年旅行村の建て替えを中心とした観光振興・交流プロジェクト、防災対策事業を中心とした安全・安心まちづくりプロジェクト、生ごみ堆肥化を中心とした花と緑のリサイクル事業からなっています。

また、本市では、今日の厳しい財政状況の中、多様化する市民ニーズに対応するため、事務業務の見直しなどの行政改革に取り組んでおり、市民に対してより質の高い住民サービスを提供できるよう、今後とも努力してまいります。

○議長（中西峰雄君）市民部長。

〔市民部長（岸田茂利君）登壇〕

○市民部長（岸田茂利君）ごみ袋料金の比較のおただしですが、さきの3月市議会定例会においてご審議いただき、新しいごみ指定袋の追加と可燃ごみ指定袋の販売価格の改正を承認していただいたところです。

特に、可燃ごみ指定袋において、大袋1枚当たり15円から50円という大きな改正をお願い

いしたところでは。

改正後のごみ袋代、ごみ処理の有料化の比較ですが、まず、8月からごみ処理を行う広域ごみ処理場へ搬入する自治体では、可燃ごみ用大袋45ℓで、かつらぎ町、九度山町では橋本市同様1枚当たり50円、高野町のみ70円となっています。

また、小袋30ℓでは、橋本市が1枚当たり30円、かつらぎ町25円、九度山町35円、高野町50円となっています。

また、資源用袋であるペットボトル用、その他プラ製容器用について、橋本市は資源物の適正分離推進の観点から据え置きまして、大袋1枚当たり15円、かつらぎ町ほか3町は可燃ごみ袋と同額の1枚当たり50円となっています。

なお、平成21年度において、議員もご存じのとおり、橋本市においては可燃ごみ指定袋の無料支給を実施いたします。

次に、県内8市の可燃ごみ袋、大袋1枚当たりの価格を見ますと、和歌山市、岩出市を除き有料化が行われまして、紀の川市の15円から新宮市の63円となっております。なお、和歌山市、岩出市ではごみ袋の規格だけを指定しております。

次に、近隣の五条市では橋本市と同様、可燃ごみ袋、大袋1枚当たり50円、河内長野市では一定量無料型を実施しておりまして、多量排出者は可燃ごみ袋、大袋(45ℓ)ですけれども、1枚当たり100円、小袋(30ℓ)用が50円のごみ処理券を購入していただいて、ごみ袋に張らなければならないことになっています。ただし、この無料型ですが、排出者は河内長野市の指定した規格の袋、1枚当たりだいたい10円前後と聞いておりますけれども、これを購入しなければなりません。

次に、全国的な状況ですが、平成18年10月現在の調査で、全国802市のうち363市、約45%

に当たりますが、この市で有料化を行っております。単純従量制を採用している市の中で、大袋(45ℓ)1枚当たりの最高額は帯広市の120円、40ℓ5枚で600円と聞いています。

また、大袋(45ℓ)1枚当たり40円台が一番多い水準になっています。

このように、橋本市のごみ袋代、ごみ処理の有料化については、有料化を実施している市の中では標準に近いものと考えております。

以上です。

○議長(中西峰雄君)健康福祉部長。

[健康福祉部長(森本健二君)登壇]

○健康福祉部長(森本健二君)少子化対策について、お答えいたします。

少子化対策については、子育て支援も含め、幅広い取り組みが行われているところですが、保育所については定員1,681人に対し、現在1,268人の入所となっており、ゼロ歳、1歳児を除き、年間を通じほぼ待機児童を出すことなく運営できております。

また、保育料は県下並びに大阪府、奈良県の近隣各市と比べて平均的な料金となっております。学童保育については全市的な取り組みを実施しておりますが、対象児童数の関係もあり、境原、信太小学校区については実施しておりません。また、恋野、清水、学文路小学校区については合同での運営という状況でございます。

乳幼児医療費助成制度については、県事業どおり、就学前児童を対象としており、市独自の取り組みは行っておりません。

本市では、児童のすこやかな発達への取り組みに力を入れており、のびのび教室、たんぼぼ園、つくしんぼ園等で、発達につまづきのある児童のサポートに力を入れております。

次に、高齢化対策についてお答えします。

介護保険料につきましては、第4期介護保険事業計画における橋本市の介護保険料の平

準化した場合の保険料としては4,857円で、和歌山県下では高いほうから6番目となります。最高は九度山町の5,490円、最低は大地町の3,023円です。

橋本市の近隣では、前に述べました九度山町が5,490円、かつらぎ町が4,900円、高野町が4,200円で、大阪府河内長野市が4,100円、奈良県五条市は4,400円となっています。

次に、国民健康保険税について、本年度改正させていただき、税の賦課が7月初旬の予定であるため、現時点では近隣市長との税額比較はできませんが、伊都郡内及び県下8市及び奈良県五条市の21年度税率、大阪府河内長野市（現在率改定準備中）の20年度の税率を聞き取り調査し、所得150万円、固定資産税3万円の2人世帯という条件で試算したところ、世帯当たりの税額は最高29万2,800円、最低が18万8,300円であり、平均23万6,400円ということになりました。橋本市は24万7,500円で、比較14市町村中5番目であります。

次に、人口当たり病院・診療所病床数についてお答えします。

平成20年3月発行の和歌山県保健医療計画によりますと、橋本保健医療圏の一般病院は6病院で744病床となっており、1床当たり132人です。

また、一般診療所は93診療所で117病床、1床当たり840人となっていますが、一般病院と一般診療所を合わせますと861病床となり、1床当たり114人になります。

次に、単独の高齢化対策について、お答えします。

橋本市の高齢者人口は1万5,611人を超え、高齢化率は22.8%、これは21年4月現在となりました。橋本市では、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができる長寿社会実現に向けて、平成21年3月に橋本さわやか長寿プラン21（橋本市高齢者保健福祉計画・介護

保険事業計画）の見直しを行いました。

高齢化が進む中、高齢者の生きがいづくり、寝たきり予防、介護予防事業が行政として主要課題の一つとして取り組んでいるところで

す。特に、介護予防は生活機能の低下を予防し、さらに維持向上を図ることであり、個々の生活習慣病や生活環境、個人の生き方と密接な関係があります。橋本市では18年度、19年度と和歌山県介護予防モデル自治体として指定を受け、県下の中でも先進的、意欲的に介護予防を効果的に推進しているところです。特に、介護予防の一貫として注目されているげんきらりー教室という高齢者の筋力向上トレーニング事業については、和歌山大学や和歌山県とも協力しながら、市内各地に自主的な教室の広がりが見られるなど、全国的にも注目されています。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）上下水道部長。

〔上下水道部長（上田敬二君）登壇〕

○上下水道部長（上田敬二君）上下水道料金についてお答えいたします。

本市の水道料金は、平成21年4月より旧市町の料金を統一し、家庭用料金を基本料金10㎡当たり1,780円、超過料金1㎡当たり178円の新料金として実施しております。

この料金体系は、全国平均の1,464円、類似団体の1,229円と比較して高くなっております。それといたしますのも、本市の地形は河岸段丘や開発された山地の中腹に住宅街があり、配水池等の整備に多大な費用がかさむ等のこともあり、給水収益に対して減価償却費の比率が高いことから全国平均よりも高い要因の一つとなっております。

なお、現在の水道事業の経営状況から申し上げますと、人口減、給水量が減る中、平成18年度より黒字となっておりますが、累積欠

損金が約8億円あり、今後第5次拡張事業におきまして平成37年まで安全・安心のための更新事業として約99億円の事業を見込んでおりますことから、当面は現行料金でいきたいと思っております。

また、高齢者、独居老人の配慮についてであります。旧高野口町においては一定の制約はありましたが、60歳以上の独居老人に対して水道料金を半額補助しておりました。しかし、これは合併協議の中で廃止しました。廃止の理由として、水道事業は独立採算を基本とする企業会計であり、水の対価として料金をいただいている以上、受益者平等負担が原則であります。ご理解をお願いします。

続いて、下水道料金であります。下水道使用料は合併後も旧市町別々の料金体系で運用してまいりましたが、合併協議に基づき、本年4月から統一させていただきました。

ご存じのとおり、下水道事業は整備に長年の歳月と多額の建設費を要する先行投資型の事業です。このため、建設に必要な費用は国の補助金や市債等によってまかなわれ、運営に係る経費についても現状においては使用料だけではまかなわれず、その多くを一般会計からの繰入金で運営しております。

こういった経営の状況ではありますが、県下的に見ますと普及率においては46.1%と、県平均17%を大きく上回っており、環境面や生活の利便性からは都市機能が向上しつつあると言えます。ご理解をお願いいたします。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君、再質問ありますか。

13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）大分いろいろありましたんで、答弁のほうも大分時間がかかったかと思うんですけども、それではまず図書館のほうからお尋ねをしていきたいと思っております。

質問の都合上、①②③をまとめましてお尋

ねをしてまいりたいと思っております。

まず、蔵書数なんですけれども、12万6,000冊、これが6万5,000人から7万2,000人ぐらいの規模で53館中48位、非常に低いのかなというのが実際の感想です。12万6,000冊ということですので、人口1人当たり直すと、これ2冊を切ると思うんですけども、ちょっと古い数字なんですけども、2001年の数字で申しわけないんですけども、全国平均で2.5冊なんです。それよりも8年たっているんですけども、かなり低い水準にあるなという感想を持ちました。

じゃ、予算どうなっているのかというと、平成18年までは1,000万円来ていたのが約300万円減っている。だから、当然ここで予算は減る、蔵書が少ない、なかなか充実はしていかないのかなと思うんですけども、ちょっとまずここで一旦切りまして、予算がまずこれ減らされたのは、どういった理由からでしょうか。

○議長（中西峰雄君）瀧君の再質問に対する答弁を求めます。

財政課長。

○財政課長（北山茂樹君）図書館の図書費の予算についてお答えさせていただきます。

議員もご承知のとおり、図書費につきましては地方交付税の需要額に算定をさせていただいております。昨今、国の予算の中で地方交付税総額が減額されているということが一つの理由と、それから、地方交付税といいますのは基準財政需要額から収入額を引いた分が市町村に対して現金で給付されるということになっておりますので、私どものほうで厳しい財政状況の中で、交付税で実際に現金として橋本市に入ってくる相当額の100%分を平成20年度から図書費の購入費として予算で反映させていただいておることをございます。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）済みません、ちょっと1点確認させていただきたい。

その地方交付税で、これ図書費分というようにすることで明確にあるんですか。

○議長（中西峰雄君）財政課長。

○財政課長（北山茂樹君）基準財政需要額の算定方法の中に図書費ということで額が示されております。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）としますとですね、これうちの市だけで考えたら理解できるんですけども、とすると、他の自治体についても同様に同じような計算式でこの部分というのがおりてくるんじゃないかな、国のほうからおりてきているのかなと思うんですが、それにしてはかなり差があるような気がするんですが、そうすると、これは他の都市はそれより加えて図書の大切さということを考えて、そのままじゃなくて増額をして予算を取っているんでしょうか。そのあたりどのようなか、ちょっと教えてください。

○議長（中西峰雄君）財政課長。

○財政課長（北山茂樹君）予算につきましては、それぞれ自治体の考え方をもちて予算付けを行っていると考えております。人口1人当たりということで額が算定されるわけでございますけれども、厳しい財政状況の中では、私どもは現金で入ってくる分の満額を予算化しているということでございます。

自治体によりますと、さらに厳しいところでは交付税で現金で収入されておる額よりもさらに厳しい額で予算化をしているということもかなりございます。

ご承知のとおり、交付税というのは特定財源ではございませんので、各自治体の一般財源として取り扱われるものでございますので、それを交付税で参入されているからといって、

必ずその分は予算化しなければならないものということにはなっておりませんので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）そのあたりは理解をしたんですけども、そうしますと、ちょっと蔵書が少ないんですけども、教育委員会でちょっとお答えいただきたいんですが、橋本市の図書館、蔵書が少ないんですけども、これでいいんか。少ないんですけども、例えば他の周辺の図書館に比べて、こんなところがうち実は充実しているんだよ、郷土史とかそんなんは除いてくださいよ。それは当たり前ですんで。橋本の市史がよその図書館にないです、うちしかありませんと言われたらそれまでなんですけども、例えば、何かこんな本は蔵書は充実していますよというのがあれば、ちょっとご紹介ください。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）郷土史は除くということなんですが、郷土資料としては大畑才蔵の関係の資料、これを橋本市で編さんしてあるということは、どこともそうなんですが、それぞれの郷土を愛する心を持って、それぞれの郷土資料とか、郷土資料館というのもあるんですけども、その市を見ればどういった郷土資料館があるとか、それから郷土史についての詳しい本があるとか、そういった部分が強調されると思っております。

それと、もう一つは橋本市の図書館、以前に絵本の充実というのをかなりやった時期があると聞いております。これも、当時嘱託で幼稚園の先生がされておった自分に、そういった部分の充実をされてきたということで、それも橋本市の図書館としての誇れる部分であるかなというような考え方で思っております。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）今、絵本ということでお答えいただいたんですが、ちょっとこれ疑問なんです。ちょっと私も、例えば1冊例にとります。たまたまじゃないんですよ、何冊かあるんですよ。そのうちの一つ。

「わすれられないおくりもの」ってスーザン・バーレイという、ちょっと同僚議員にもきのう聞いたんですけども、うちにもあるよって、14番議員の方もおっしゃっておられて、これ絵本ナビって、そういうインターネットのサイトにかなり評価の高い五つ星をもらっているような本なんです。実はこれ、今うちの図書館にあるのかなって調べたらありません。河内長野市どうなんやろうなって調べてみました。そうしますと、河内長野市にはこの絵本が何と11冊ありました。岩出市どうやろうな、岩出市も3冊ありました。よその図書館、隣の図書館で11冊もあるような本、それうちの図書館にないんです。絵本、今充実しているとお聞きしたんですけど、ほんまかなって。県内もちょっと見てみたんです。そうしたら、あちこちあるんです。美浜町立とかも2冊あったり、上富田町立図書館も3冊あったり、田辺市は9冊ありました。もちろん、ないところもあったんです。南部町立図書館はなかったみたいですけどね、でもね、こんだけあちこちに置いてある本が、充実していると言われていた絵本で残念ながらこんな状況なんです。だから、その選書をどうしているのかなということをお尋ねしたんですけども、新刊についてはどんどんそうやって選んでいただいている、リクエストも受け付けていただいているということなんですけども、その充実している絵本というところ、また、これもう言うても仕方がないと思うんで、しっかり要望しておきたいと思えます。

時間があまりありませんので、図書館と公

民館のほうへちょっと移らせていただきますけども、これ私お伺いしたのは、ブッキーで移動していて、そこでやりとりができる、それだけやないんです。例えば公民館、例えば隅田とか、先ほどの絵本とか、結構逆に図書館より充実してたりするんです。サークルも頑張っているのかなとは思ってますけどね。

ところが、じゃ、その公民館にはこんな本があるよ、図書館には置いていないけども、公民館のほうにやったらあるよというような絵本なんかもあるんです。そんなんが整理されていって、図書館のほうでなければ、これこの本やったら公民館にありますよって、司書の方が言っただけとか、あと、この通告にありませんけども、学校図書館とか、こういったところを結んで、学校図書館もボランティアの方が入られたりしていただいているんで、できるだけある資源ですね、今の限られた予算の中で使えるようにしていったらと思うんですが、そのあたりについてのご見解、簡単をお願いします。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）今、ご指摘いただいた学校の関係の図書館、それから公民館の関係の図書館、いずれもボランティアの方に多くかかわっていただいて、いろんな作業の中で子どもたちやら一般の市民の方に見やすいような状況をつくっていただいております。

今後、予算の中でできるだけそういった公民館と図書館のやりとりも含めて、ボランティアの方にもいろいろ協力願って図書の実用を図っていきたいと思っております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）それと蔵書検索、先ほどですね、システム的には可能であると、情報セキュリティの問題でということなんです



が、そうすれば、これL G W A Nの中であれば使えるのであれば、今の公民館ですね、公民館のところにも何か無駄な機械がありましたよね、私も以前、一般質問させていただきましたけど。あんなのを使って蔵書検索、それだったらすぐにできるんですか。

それと、あともう一点、この蔵書検索、もうまとめて聞きます。

今、例えばポータルサイト、ヤフーとかあんなところで橋本市と図書館、このキーワードで入れますと、ないのかなと思っていたら、こんなん出てきたんですよ「橋本市図書館蔵書検索」、ここへ入れてみました。全然ヒットしませんね。入っているのは入っているんですけども。どうも聞いてみると、これ、よく見たら市がやっているのと違うんですね。和歌山大学がやっているんですね、URL見たらね。和歌山大学のドメインなんですね。和歌山地域コンソーシアム図書館の蔵書検索ですか、そんな形で入ってきているんですが、これ非常にこの状況についてとか、和歌山地域コンソーシアム図書館、これの現状についてとあわせてこの蔵書検索について教えてください。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）和歌山地域コンソーシアム図書館につきましては、これと和歌山大学が中心になってサーバーを通して、各市の図書館の状況が見れるという、そういうウェブ上の仮想の図書館でございます。これの関係につきましては、公立図書館協議会等の中で、今申しました和歌山大学が中心となって整備をしておるものなんですけど、以前、橋本市が参加しておる状況につきましては、平成14年度のデータということで、非常に古いデータなんですけど、当時、今の図書館長、フロッピーでデータを落としまして、それをオフラインで和歌山のほうへ手渡して、それをも

ってデータを処理しておりますので、非常に古い状況と、現実に外から見ると、同じように公共図書館としての蔵書の内容というのは見れるようにはなっておるんですけども、そういった部分で非常に古い情報ということと、多くのデータの誤りがあるように聞いております。

そういったところで、本市独自の図書館のシステムにつきましては予算化もいただいておりますので、L G W A Nの中では相当制限があると聞いておりますので、そういった部分で情報サービス課との関連がございますが、そういった部分で独自の図書館の検索ができるような方法に、耐震改修が終了後の話なんですけど、そういった方向に持っていきたいと教育委員会では考えております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）企画部長、今、情報推進課の話が出たんですけども、これが先ほどの地域イントラを使って公民館のあの端末に使うのであれば、セキュリティ面とかでの問題というのはないというふうに考えるんですけど、いかがですか。

○議長（中西峰雄君）企画部長。

○企画部長（吉田長司君）L G W A Nにつきましてはちょっと制限がありますけども、橋本市の地域イントラの中では公民館ともつながっていますし、高速でつながっていない関係上、ソフトの関係だけかなと思います。資産としては使えるものというふうに考えてございます。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）そうしたら、予算措置もできているということなんで、それはぜひとも進めていっていただきたいとお願いいたします。

それと、今、昨日も議論もありましたし、

今も出てまいったんですが、教育文化会館の耐震、これに伴って図書館のサービスに対してはかなり制限を受けるという話もあるんですけども、これはこれでいたし方ないのかなと思うんですが、だからこそ河内長野市とか3市協ですね、これで相互利用できるような形での交渉をお願いしたいと思うんですが、現況についてと今後の見通しについて教えてください。

○議長（中西峰雄君）企画経営室長。

○企画経営室長（野上義巳君）他市図書館との相互利用というようなことで、特に河内長野市の図書館、キックス、この件に関しましては企画サイドといたしまして、河内長野市、橋本市、五条市の3市で組織しております広域連携協議会でもって、いわゆる事業の目的であるところの広域行政的などから、そのものを何とか連携していけるようにということで、昨年議会のほうからも近隣市との相互利用についておただしがありました。

その後、3市協の会議におきまして何回か協議を行って来てはございます。しかし、それぞれ各市の立場から意見もありまして、本市につきましては望んで相互利用させてもらいたいんですけども、他市、五条市、河内長野市、特に河内長野市の市民が、わざわざ橋本市の図書館を利用しに来れるのかというような問題点もございます。そういったところではありますんですけども、他市も何らかのメリットがあるものと考えていけば、図書館の相互利用も難しいものではないというようなことで、それぞれの市の公共施設の相互利用も含めた形で今後検討していこうというようなことで、意思確認をしております。

そういったことで、先ほど議員おっしゃっていただいたように、耐震改修工事もある中で、本市としては先ほどから十分住民サービスとしてやっていけるような形で、できる限

り相互利用のことを前向きに進めていけるように、今後3市協で協議を進めてまいりたいというように思っております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）なかなか河内長野市民の方にとって、あまり橋本市の図書館というのはメリットは少ないのかなと言われればそれまでなんですけども、ぜひとも広くいろんな公共施設という観点、また観光施設、そういったところで、例えばこの議会でも議案が出ていますけども、温水プール、向こうもあるのかな、あったと思いますけど、市外在住のところに、その3市協のところは市内扱いするとかですね、それとか歴史館だとか、いろいろあると思うんで、そういったところも含めて、またみんなで陳情に行けと言うんなら行かせていただきますんで、ぜひともこれだけは実現へ向けてお願いしたいと強く要望をさせていただきます。

次へ移りたいと思います。もう残りがほとんどありませんので、端的にまいります。

まず、企画部長からいろいろいただいたんですが、もう時間がありませんので個々にお尋ねしたい点、幾つかピックアップさせていただきます。

まず、少子化対策についてなんですが、待機児童がないという、これはだいたいわかっているんですけども、1点、乳幼児医療費助成制度についてなんですが、これは就学前についての無料化ということなんですが、年収の制限の上限は他市と比べていかがでしょうか。

○議長（中西峰雄君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（森本健二君）済みません、資料を今持っておりませんので、後ほどまた説明させていただきます。申しわけございません。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）わかりました。

そうしたら、国民健康保険の保険料なんですけど、昨日ですね、ちょうど毎日新聞の1面に保険料格差3.6倍という見出しで、各自治体の保険料の比較がございました。いきなり言うとおそれかと思ったんで、ちょっとけさお願いしたいんですが、この算出、世帯所得が200万円、40歳代夫婦と未成年の子2人の4人家族、固定資産税額は5万円、このモデルケースで当てはめると、本市の場合は国民健康保険料は一体いくらになりますでしょうか。

○議長（中西峰雄君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（森本健二君）そのことなんですけども、年税額として、医療分として23万7,800円、支援金分で7万9,100円、介護分で5万6,300円、合計で37万3,200円となっております。ちなみに、月当たりになりますと3万1,115円となります。

以上です。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）はい、わかりました。和歌山県の平均がちなみに32万6,346円です。一番安かったのが、低いところが東京都の青ヶ島村13万9,900円、最も高かったのが大阪府の寝屋川市50万4,030円ということです。県下では46万6,400円が湯浅町ですか、やはり少し高い目なのかなという事は思います。

逆にですね、全国的に見て本市がすぐれていたのかなと思うのが、人口当たりの病院、診療所の病床数なんですけど、これね、全国806市、特別区も合わせてなんですけど、これ調べているデータが東洋経済が出しているデータがありまして、本市でこれをデータで見ますと、何と51位と、806の都市中51位と、非常にこれはすごくいいんですね。いいのかなかはあれですけども、だからそれが国民健康保険料にはね返ってくるんやというご意見もあ

るかと思うんですけども、これ一つの特徴なのかなと思います。

時間がないので、済みません、ちょっと飛ばします。

下水道料金、ちょっとお尋ねしたいと思います。

このたび改定になりました、以前いただいた資料があるんですが、これ従量制で、1㎡当たり130円ですか、ほんで一定なんですけども、これ比較しますと、使用量が10㎡の場合、全国平均が1,180円に対して1,300円、20㎡の場合平均が2,516円に対して2,600円といずれも高い。

ところが、30㎡を超えるに従いまして、平均が3,997円に対して本市が3,900円と安くなっていっています。使用量が増えれば全国平均より下回る。と、多分部長の答弁として本市は一定量やと、量に対して一定なんやということやと思うんですが、ということ、他の自治体では少ない使用量の方に対して配慮された料金設定をされているのではないかと推測されるんですが、そのあたりについてのご見解をお聞かせください。

○議長（中西峰雄君）上下水道部長。

○上下水道部長（上田敬二君）本市の場合については、たくさん流すほど率が変わってきます。それで、他市との比較なんですけれども、他市の自治体でも考え方がそれぞれまたかなり違います。一概に比較できないんですけども、本市の場合、10㎡が一応基本になっておりますけれども、これは先ほどおっしゃいましたように1,300円で、全国平均よりも若干高いです。

それで、20㎡になりましたら、全国平均並みになります。30㎡の汚水の使用量になりましたら、全国平均より低いような状態になります。さらに40㎡、50㎡、これはもう平均よりずっと下回っております。当初、どんな考

え方で設定したのか、私はちょっとそこまで勉強しておりませんが、紀の川流域、九度山町、かつらぎ町、同じ料金体系を使っておりますので、基本的には類似都市を参考に設定されたんだと思います。使用量が多くなるほど全国平均より下がってくるんですけども、基本的な考え方というのは1㎡当たり130円という考え方はそのままですので、1㎡当たりの料金をいくらにするかということで決められたんだと思います。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）なかなかいろいろこのあたり、これからも議論を続けてまいりたいなと思うんですけども、パートワンと題していましてですね、また次回のほうへ、もう時間もありませんので、続いていきたいなと思うんですけども、とりあえず、ちょっときょうデータだけご紹介だけさせていただきます。

今から申し上げるデータは、東洋経済の都市データパック2009年版、ここがまとめた数字でございます。

「住みよさ」というようなランキングがありまして、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」、これもいずれも主観的なものじゃなくて、それぞれ厚生労働省の医療施設調査であったり、住基台帳、商業統計とかですね、そういう統計資料をもとに算出しているものです。これが784自治体中579位です。「成長力」ですかね、これが742位、特に問題なのが「産業」の773位、これは企業誘致、頑張っていたかかないとあかんなというようなことが数字として現れておるんですけども、「民力度」についても622位、やはりちょっと一番心配なのが「年少人口の増減率」、これがマイナス16.4%で735位です。きつい、非常に厳しい数値でございます。

いいのがですね、「持ち家世帯割合」これは

105位と、比較的持ち家率の高いということが伺われます。やはり産業とかこのあたり、今後力を入れていかなければいけない問題点かなと思います。そんな点でですね、最初に企画部長が答弁いただいた企業誘致をはじめ、頑張る地方応援プログラム、こんなところもやはり引き続き力を入れていきたいなど。

ちょっと、前回私も一般質問しました公園とか緑地とか、この辺がいいというのがちょっとどうかって思う部分もあるんですけども、また引き続きまして、だいたい4回ぐらいを予定しております。パートフォーぐらいまでを予定しておりますので、これ住民からまた次回は引き続きまして上で、今度それに対して予算がどのようにつけられているのか検証をしてみたいと考えております。

○議長（中西峰雄君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（森本健二君）その状況というのは今調べておりますので、もうしばらく後になるかもわかりませんが、後ほどまたさせていただきます。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）済みません、ちょっとこれ。

これもね、多分ある市民の方から聞かれて、今まで受けられていたものが橋本市に引越してきたら受けられなくなったというようなこともありましたんで、ちょっとお尋ねをさせていただきました。

それではまた次回に引き続き質問をさせていただきたいと思いますので、今回は、本日はこれにて私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（中西峰雄君）これをもって、13番 瀧君の一般質問は終わりました。

この際、4時10分まで休憩いたします。

(午後 3 時54分 休憩)